

令和7年度 学校法人若草学園 認定こども園湯沢若草幼稚園  
施設評価報告書

令和8年3月

1、 本園の保育方針

- 一人一人の子どもの実態を把握し、心に寄り添いながら人として生きていくための基盤となる力を育む保育の実現を目指す。
- 家庭や地域との連携を密にし、子育ての大切さや楽しさを共有しながら、子どもの健やかな成長の手助けをする。

2、 本園の保育目標

- 心身ともに健康で明るい子
- 思いやりの気持ちをもって友だちとかかわる子
- 好奇心や探究心をもって意欲的に取り組む子
- 自然に親しみ、不思議さ、命の大切さを感じる子

3、 評価項目の達成及び取組状況（評価）

| 評価項目                    | 取組状況（評価）  |
|-------------------------|---|
| I 保育の<br>理念・目標<br>計画・評価 | 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいた教育・保育課程を編成し、年間指導計画は、期ごとに乳幼児の実態に応じて見直しを図っている。1～2月に1年間の振り返りをし、それを基に次年度の全体的な計画と年間指導計画を作成している。昨年度末に、重点目標も見直しを図り、職員はもちろん、保護者にもわかりやすい目標を設定した。個々の育ちやクラスの様子、目標のどの部分につながっているのか、ここにつなげるためにはどのようにしたらよいかなど、振り返りや職員間での協議がしやすくなり、その内容を基に目標やねらいが達成できるように努めている。 |
| II 保育の内容                | 毎日の日誌や記録を基に、個々、またはクラス全体の保育内容や環境を模索したり、外部機関や他の保育施設、小学校との連携を図ったりしながら、一人一人に寄り添った保育をめざしている。また、安全かつ適切な衛生状態の中で過ごせるように、衛生面にも力を入れて取り組んでいる。<br>今年度は、「食育」を目標の一つとして、農業体験や、食育を意識した教材を多く取り入れるようにしてきた。  |
| III 幼稚園の組織、<br>役割分担     | 自分の職務内容に責任を持ち、また、保育の専門家として誇りと自覚をもった言動を心がけ、子どもたちと共に成長できるように考えながら保育にあたっている。「不適切保育」や「給食の誤飲」などの報道や情報があった際は、その内容を職員全体で周知し、協議したり、自分の保育を振り返ることができるようにしている。   |

|            |  |
|------------|--|
| IV 家庭、地域社会 | <p>コミュニケーションアプリ「ルクミー」は、保護者の要望や職員の意見も取り入れて、さらに充実した内容となるようにした。保護者からの保育相談も増え、信頼関係を深める事にもつながっている。</p> <p>地域のクリーンアップや近隣住民の方々との合同避難訓練などに取り組み、より地域とのつながりを深めることもできた。</p> |
| V 事務管理・運用  | <p>守秘義務については、折にふれて会議でも協議し、徹底するように努めてきた。</p> <p>保育料の口座振替や、延長保育料集計のアプリ導入など、事務管理面でも保護者や職員の意見を取り入れ、改善することができた。</p>   |

#### 4、 今後取り組むべき課題

##### I 保育の理念・目標・計画・評価

概ね達成できているものの、改善を必要とする面もあった。わかりやすい重点目標を設定し、その部分は理解できるものの、そこからクラス全体や個々の発達にどのように結び付けていくかという面で、難しさを感じるという意見もあった。PDCA サイクルを、より意識して努めていけるようにしていきたい。

##### II 保育の内容

近年、「多様性」に加え、様々な面において支援を要する子どもが増えてきたおり、個々の発達状況を把握して対応していくことが求められており、研修や職員間での協議を重ねて努めているが、まだまだ努力や改善を要するという意見が多かった。研修内容の充実を図り、資質、能力の向上を図っていきたい。

環境面においては、概ね達成できている。安全かつ適切な衛生環境を保つことができているからこそ、大きなけがや学級閉鎖を伴うような感染症の集団発生を抑えることができていると捉えている。

##### III 幼稚園の組織・役割分担

自分の役割を自覚して職務にあたることは、今年度も概ね達成できていた。連携不足や「報告・連絡・相談」の徹底については、職員会議の中で方法を考慮し、常に改善を図ってきた。業務の効率化についても、他園の取り組みや職員の意見を取り入れて、達成できていると感じているが、さらなる効率化を目指していきたいと思う。

##### IV 家庭・地域社会

保護者対応に関しては、昨年度の「保護者アンケート」の結果を基に、改善点や共通理解に努めてきたことで、達成、または、昨年度よりも改善されているという評価が多かった。

地域とのつながりは、散歩の際に挨拶をすることやゴミ拾いをすることなど、子どもたちと一緒にできることも考えながら、地域社会に貢献できるようにしている。

他園や外部機関との連携については、姉妹園や幼保小ブロック内の施設との交流を通して、外部の方々からの指導や助言をいただいたことで、職員の資質向上に繋がっている。

公開保育については、前年度良かった取り組みとして評価されているが、感染症の流行に伴い中止となる場面もあったため、来年度は今年度の反省を生かし、実施時期についても検討しながら取り組んでいきたい。

## V 事務管理・運用

守秘義務の徹底は、今年度もほぼ達成できていた。外部からの情報を正確に処理することも、できていたと感じる。

## 5、 自由記入欄に記入されたコメント

### ・保育の理念、目標、計画、評価

\*学童部も、指導計画を作成するべきなのかなと考えている。

### ・保育の内容

\*週案は、1週間で達成することができるような「ねらい」や「内容」にしているが、達成するのが難しい時もあった。もう少し簡単な「ねらい」「内容」にすることで、1か月で月案の目標が達成できるようにしていきたい。

### ・幼稚園の組織・役割分担

\*クラス担当者に限らず、職員全体で情報を共有したり、連携を図ったりしていきたい。

### ・家庭、地域社会

\*一人一人の家庭での姿や状態を把握するようにしているが、家庭環境や食事習慣などが、つかめない子どももいる。保護者対応にも気を付けながら、連携を図っていこうと思う。

## 6、 施設評価委員による評価、アンケート集計結果

### ・評価方法

様々な感染症の流行状況を踏まえ、感染症対策として施設評価委員会を行わず、アンケート方式での評価とする。

### ・アンケート回答者

(1) 施設評価委員 2名 (内、1名は父母の会会長と兼務)

### ・評価内容

(1) 自己評価結果の評価

### ・評価、アンケート集計結果

#### (1) 保育、指導案のアンケート

A=あてはまる B=ややあてはまる C=あまりあてはまらない D=あてはまらない

|   |                                |                  |
|---|--------------------------------|------------------|
| 1 | 教育、保育目標や内容がよくわかるように立案している。     | A (2名)<br>C (1名) |
| 2 | 教育、保育の指導方針や内容が工夫されている。         | A (3名)           |
| 3 | 本園の保育方針、保育目標に沿った活動が展開されている。    | A (3名)           |
| 4 | 子どもたちの意欲や主体性を育む教育、保育をしている。     | A (2名)<br>B (1名) |
| 5 | 職員は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に保育をしている。 | A (2名)<br>C (1名) |
| 6 | 職員は、子どもの個性を大切にしている。            | A (2名)<br>B (1名) |

|   |   |                            |
|---|---|----------------------------|
| 7 | 職員は、明るく熱心である。                           | A (2名)<br>C (1名)           |
| 8 | 園だよりやクラスだよりなどで、日々の教育、保育の様子をわかりやすく伝えている。 | A (1名)<br>B (1名)<br>C (1名) |
| 9 | 子どもたちが伸び伸びと遊び、生活しやすい環境である。              | A (2名)<br>B (1名)           |

#### 自由記入欄

##### \*保育の援助や環境構成、ねらいに関する点

- ・園児数の減少や未満児の受け入れ増加など園を取り巻く環境の変化がある中で、保育相談等を通して家庭との連携を図り、子どもの発達理解がさらに深まるような取り組みを期待する意見があった。
- ・子どもが園での出来事を楽しそうに話しており、日々の保育活動の充実を感じるという意見があった。

##### \*保育者との連携・情報共有に関する点

- ・先生によって説明や伝え方に違いがあり、戸惑うことがあるという意見があった。
- ・父母会に関して、保護者主体の活動と園からの依頼内容の区別が分かりにくいと感じることがあるとの意見があった。

##### \*園と保護者の協力体制について

- ・園と保護者が協力して活動するためにも、年間の流れや行事の位置づけについて、より分かりやすい説明や共有があると良いのではないかという意見があった。
- ・父母会役員は毎年交代するため、園からの声かけや助言があると活動が進めやすいのではないかという意見があった。

##### \*その他

- ・園長や主任の先生が変わることで、これまでのサポート体制がなくなるのではないかと不安を感じるという意見があった。
- ・様々な体験の機会を提供していることについての感謝の声があった。

#### ・保護者へのアンケート

- ・実施方法 全園児の保護者にコミュニケーションアプリのアンケート機能で、2月9日（月）に配信。回答期限は2月16日（月）。
- ・集計結果 別紙参照

#### 7、集計結果を受けての園の見解

- ・今年度も、自己評価内容、園の保育内容共に、適切、または概ね適切であるという意見であった。
- ・「情報共有」「職員間の連携」に関しては、職員からも「十分ではなかった。」という意見も聞かれた。毎年、重点をおいて取り組んでいることではあるが、今後どのようにしたら良いのかを十分に検討し、実践していきたいと思う。
- ・職員の資質、能力の向上に関しては、外部研修、園内研修だけでなく、日々の保育の中からも学びを得ることができるよう、職員一人一人が自分なりの目標を持って取り組むようにしていきたい。

・保護者アンケートは、貴重な意見を多数いただいた。全てを職員全体で共有して、改善すべき点は改善し、検討が必要な案件に関しては、各担当委員会で協議して共通理解を図り、来年度に生かせるようにしていきたい。

・昨年度いただいた意見に基づいて改善した点に関しては、日々の保育の中で評価いただく事が多く、その後も向上できるよう努めている。

・保護者の方からは要望や意見、相談等を、折に触れて直接伝えていただく事が多く、その都度対応している。今後も保護者の方々や地域の方々が、意見、相談をしやすい開かれた幼稚園を目指していきたい。